

瀬戸内国際芸術祭実行委員会第26回総会
議 案 書

令和2年3月31日(火)

【第1号議案】

令和元年度事業報告及び補正予算（案）について

I 令和元年度事業報告

1 瀬戸内国際芸術祭 2019 の開催

(1) 開催概要

- ①会期 春（ふれあう春）：2019年4月26日（金）～5月26日（日）
夏（あつまる夏）：2019年7月19日（金）～8月25日（日）
秋（ひろがる秋）：2019年9月28日（土）～11月4日（月）
計107日間

- ②会場 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島（春）、
本島（秋）、高見島（秋）、栗島（秋）、伊吹島（秋）、
高松港周辺、宇野港周辺

(2) アートプロジェクト・イベント

32の国と地域から230組のアーティストが参加し、214作品、35イベントを展開した。

また、「瀬戸内の資源に焦点を当てた取組み」、「アジアとの交流事業」、「島の『食』に関するプロジェクト」、「芝居・舞踏の多様な展開」に重点的に取り組んだほか、北浜エリア、小豆島の四海地区、四国村など新たなエリアでの作品展開を行った。

(3) 来場者数

来場者数は、春会期が386,909人、夏会期が318,919人、秋会期が472,656人で、総来場者数は1,178,484人となった。

また、イベントへの来場者数は18,736人となった。

(4) 交通の整備

①海上交通

来場者の交通アクセスの向上を図るため、各事業者により既存航路の増便や臨時航路の開設が行われたほか、旅客船の混雑緩和を図るため、「フェリー乗り放題3日間乗船券」を発行した。

また、高松港や会場となる島の港では、案内誘導看板の設置や案内スタッフの配置等により、乗船者の円滑な誘導、混雑緩和を図った。

②島内交通

島内での来場者の移動手段の確保や住民生活への影響緩和の観点から、各事業者による島内バス路線の新設、増便の対応が行われた。

(5) 来場者対応

高松港に総合インフォメーションセンターを設置するとともに、各会場の港などに27か所の案内所を設置し、チケット等の販売、作品やイベント、交通等の案内を行った。また、主要な案内所に外国語対応スタッフを配置するなど、増加する外国人来場者の受入対応強化を行った。

その他、経路検索等が可能な公式アプリケーションの無料公開、各案内所等における無料 Wi-Fi スポットの整備などを行った。

(6) オフィシャルツアー、カスタマイズツアー

チャーター船で島々を巡り、ツアーガイドによるアート作品や個性豊かな島々の文化・歴史などの案内や、その島でしか味わえない地元の食材や文化を生かした昼食を提供するオフィシャルツアーを今回初めて催行した。

また、旅行者の希望に応じた旅の企画、手配、ガイドを行うカスタマイズツアーを適宜実施した。

(7) ボランティアサポーター

アーティストと地域をつなぎ、作品と来場者を結ぶ役割を果たす瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーター「こえび隊」や、香川県内の企業を中心とした団体を対象とした「企業・団体ボランティアサポーター」を募集し、国内外から多くの参加、協力があった。

(8) 広報

県内外の商業施設や海外の観光イベントなどにおいて、パネル展示やチラシの配付、プロモーション動画の放映など各種プロモーション活動を行った。

また、ポスター、リーフレット、公式ガイドブックなど各種広報物を制作したほか、新聞や交通機関等での広告掲載を行った。

その他、報道関係者向けのプレスツアーの実施や、各種視察の受入れ、公式ウェブサイトや SNS を活用したタイムリーな情報発信などを行った。

(9) チケット、グッズ

会期中、芸術祭の作品を鑑賞できる「作品鑑賞パスポート」を制作し、各案内所やオンラインでの販売を行ったほか、香川県、岡山県の高校生等を対象に作品鑑賞パスポートの無料配布を実施した。

また、芸術祭オフィシャルグッズを制作し、公式ショップ等で販売した。

2 ART SETOUCHI の運営

芸術祭閉幕後に残る作品（継続作品）を有効活用し、引き続き地域の活性化を図るために、一部作品の継続公開等を行った。

(1) 継続作品の公開運営

閉幕後、豊島の一部作品と大島の作品の公開を行った。また、豊島の「島のお誕生会」を閉幕後も継続して実施した。

(2) 継続作品の補修等

今後の継続展示に向けて必要な作品の補修、修繕等を行った。

II 令和元年度補正予算（案）

1 瀬戸内国際芸術祭開催費

(1) 収入

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
負 担 金	296,750	296,750	—	
香川県	95,000	95,000	—	
高松市	47,500	47,500	—	
丸亀市	7,000	7,000	—	
坂出市	7,000	7,000	—	
観音寺市	7,000	7,000	—	
三豊市	7,000	7,000	—	
土庄町	7,000	7,000	—	
小豆島町	7,000	7,000	—	
直島町	7,000	7,000	—	
多度津町	3,250	3,250	—	
玉野市	7,000	7,000	—	
福武財団	95,000	95,000	—	
補助金・助成金	100,000	107,344	7,344	
寄付金・協賛金	30,000	57,850	27,850	
チケット・グッズ販売等	220,000	256,036	36,036	
その他	10,000	18,050	8,050	
前年度繰越金	312,264	467,740	155,476	H30決算額の確定に伴う増
計	969,014	① 1,203,770	234,756	

(2) 支出

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
アートプロジェクト費	485,000	550,065	65,065	
作品制作費等	450,000	527,088	77,088	H30からの繰越執行分を含む
イベント開催費	35,000	22,977	△ 12,023	
運営活動費	417,891	353,446	△ 64,445	
広報活動費	120,000	93,743	△ 26,257	
交通対策費	35,000	21,166	△ 13,834	
会場運営費等	250,000	227,137	△ 22,863	
事務局運営費	12,891	11,400	△ 1,491	
チケット・グッズ等制作費	40,000	40,648	648	グッズ販売数増加に伴う管理経費の増等
予備費	10,000	—	△ 10,000	
ART SETOUCHI運営費への繰出金	16,123	5,364	△ 10,759	
計	969,014	② 949,523	△ 19,491	

(3) 令和元年度収支差額

収支差額①-②

254,247 千円

（翌年度瀬戸内国際芸術祭開催事業費へ繰越）

2 ART SETOUCHI 運営費

(1) 収入

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
補助金・助成金	-	500	500	
チケット・グッズ販売等	200	30	△ 170	
前年度繰越金	4,677	9,331	4,654	H30決算額の確定に伴う増
芸術祭開催費からの繰入金	16,123	5,364	△ 10,759	
計	21,000	① 15,225	△ 5,775	

(2) 支出

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
作品継続費	6,500	4,687	△ 1,813	
作品管理費	4,000	2,693	△ 1,307	
イベント開催費等	2,500	1,994	△ 506	
運営活動費	13,500	10,538	△ 2,962	
広報活動費	2,000	1,570	△ 430	
会場運営費等	11,000	8,468	△ 2,532	
事務局運営費	500	500	-	
予備費	1,000	-	△ 1,000	
計	21,000	② 15,225	△ 5,775	

(3) 令和元年度収支差額

収支差額(①-②)

0 千円

(参考) 瀬戸内国際芸術祭 2019 開催事業費 3 か年 (平成 29~令和元年度) 収支決算見込み

(1) 収入 (単位: 百万円)

区分	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	令和元年度 補正予算額	3 か年収入 見込額計
負担金	24	297	297	618
香川県	10	95	95	200
関係市町	14	107	107	228
福武財団	0	95	95	190
補助金・助成金	30	41	108	179
寄付金・協賛金	4	144	58	206
チケット・グッズ等販売	1	39	256	296
その他	1	3	18	22
小計	60	524	737	1,321
前年度繰越金	101	118	466	101
収入計	161	642	1,203	① 1,422

(2) 支出 (単位: 百万円)

区分	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	令和元年度 補正予算額	3 か年支出 見込額計
アートプロジェクト費	18	75	550	643
作品制作費等	18	72	527	617
イベント開催費	0	3	23	26
運営活動費	20	91	353	464
広報活動費	12	72	94	178
交通対策費	0	0	21	21
会場運営費等	3	10	227	240
事務局運営費	5	9	11	25
チケット・グッズ等制作費	0	10	41	51
ART SETOUCHI運営費への繰出金	5	0	5	10
支出計	43	176	949	② 1,168

(3) 3 か年収支差額 (見込み)

(単位: 百万円)

収入 ①	1,422
支出 ②	1,168
収支差額 (①-②)	254

【第2号議案】

瀬戸内国際芸術祭実行委員会の収支決算に関する権限の委任について

瀬戸内国際芸術祭実行委員会の令和元年度収支決算の認定に関する権限を、本部会議に委任する。

【第3号議案】

次回瀬戸内国際芸術祭の開催について

これまで4回の芸術祭の開催で得られた貴重な経験やつながりを生かして、瀬戸内の島々の活性化、ひいては地域全体の一層の発展につなげていくため、5回目となる瀬戸内国際芸術祭を2022年に開催する。

【第4号議案】

令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

I 令和2年度事業計画（案）

1 瀬戸内国際芸術祭 2022 開催へ向けた準備

芸術祭 2022 の開催に向け、事業の取組みに関する方針の策定、アートプロジェクトの準備、受入体制の検討などの諸準備を行うとともに、広報やサポーター獲得に向けた活動などを行う。

（1）取組方針（仮称）の作成

アートプロジェクトやイベントの展開方針、重点プロジェクト、来場者の受入体制、広報活動、ボランティア運営など、各事業の実施計画、スケジュール等を定めた取組方針（仮称）を作成する。

（2）アートプロジェクト・イベントの準備

① アーティストの選定及び作品の制作

会場ごとの展開方針に従って参加作家の選考を進める。また、より地域に密着した作品制作ができるよう、必要に応じて作家による現地調査などを実施し、できるだけ早期に作品の制作に着手する。

② 作品公募の実施

より広く、多角的に参加作家を選定するため、作品公募を実施する。なお、公募の時期を前回から前倒しし、参加作家の一般公募を5月から実施する。

③ 既存作品の維持管理

アート資源の蓄積のため、過去の芸術祭からの継続作品の維持管理等を行う。

（3）広報

新しいデザインのポスター、リーフレットなどを作成し、公式ウェブサイトやSNSを活用して芸術祭のイメージを広く発信する。

また、芸術祭の開催趣旨やこれまでの成果等について広く国内外に発信するため、国内外で開催される他の芸術祭や観光プロモーション等と広報連携するほか、パブリシティを積極的に活用したプロモーション活動を行う。

（4）交通の整備

① 海上交通

会場である島々へのスムーズな移動を実現するため、前回開催時と同程度以上の輸送力確保に向け、既存航路の増便や臨時航路の開設について関係事業者等と協議調整を行う。あわせて、来場者が集中しやすい時期の臨時便運航についても協議調整を行う。

② 島内対策

作品配置計画の早期化に対応しながら、島内バスの効率的な運行ルートやダイヤ設定を随時検討し、前回開催時と同程度以上の輸送力を確保できるよう、地元市町等と連携しながら準備を進める。

(5) 来場者対応

会期中の受入環境向上のため、来場者の周遊を現地でサポートする案内所の設置について、より効率化な人員配置等を検討し、関係市町や事業者等との協議を進める。

また、来場者にタイムリーな情報を提供するためのスマートフォンアプリケーションの開発を進める。

(6) ボランティアサポーター

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークと連携し、ウェブサイトや勉強会等を通じてボランティアサポーター「こえび隊」の募集活動を行う。

また、地元でのサポーターづくりのために、さまざまな層への説明会を実施するとともに、県内主要企業や県内外の大学等を訪問し、ボランティア参加の働きかけを行う。

(7) チケット、グッズ

芸術祭 2019 におけるチケットやオフィシャルグッズの販売傾向等を分析し、次回芸術祭に向けた制度設計を行う。

また、オフィシャルグッズについては、できるだけ早期に委託事業者の選定作業等を進め、消費者のニーズに応じた商品開発を行う。

(8) 寄付・協賛等

芸術祭の趣旨に賛同し、協力連携関係を築くことのできる「瀬戸内国際芸術祭パートナー」の獲得に努めるとともに、県内外の企業・団体等に対して協賛の依頼を行う。

また、芸術祭を開催する目的や地域に起こった変化について理解を深めてもらい、企業・団体による地域活性化に向けた継続的な取組みにつなげられるよう、企業・団体を対象としたフォーラムを実施する。

2 ART SETOUCHI の運営

過去の芸術祭作品を「ART SETOUCHI」のアート資源として有効活用するため、春（ゴールデンウィーク）、夏（お盆）、秋（シルバーウィーク）の3シーズンに集中して作品の継続公開を実施し、併せて関連イベントやアーティストによるワークショップ、オフィシャルツアー等を実施することにより誘客の促進と地域の活性化を推進する。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の動向により、作品の公開、イベント、オフィシャルツアー等の実施については、今後変更する可能性がある。

(1) 継続作品の公開運営

① 公開方針

- ・過去の芸術祭作品の一部を継続作品として公開する。
- ・屋外作品は常時鑑賞可能。屋内作品は下記スケジュールにより開館する。

【屋内作品公開スケジュール（実行委員会の作品施設）】

春	5/2～5/6、5/9、5/10 【計7日間】
夏	8/8～8/16 【計9日間】
秋	9/19～9/22、9/25～9/27、10/3、10/4 【計9日間】

※豊島 te10「島キッチン」と te09「あなたの最初の色」は、ベネッセアートサイト直島の施設開館日を考慮し、上記期間外でも毎週末公開

※大島の作品は、上記期間外でも毎月1回（第2土・日曜日）に公開

※本島、高見島、粟島、伊吹島の屋内作品は、上記期間中に実施するオフィシャルツアーに合わせて公開

※その他、作品の仕様、設置状況等により、上記の公開方針に沿わない作品は、個別に検討

(2) イベント等の実施

① アートイベント

アーティストを交え、地域の祭りや行事等と連動させながら、ワークショップや音楽など魅力あるイベントを開催する。

開催するイベントは、これまでの芸術祭の作品や地域特有の資源を活用した、瀬戸内の島々の魅力の継続的な情報発信や島の活性化につながるものとする。

② 瀬戸内アジアフォーラム

芸術祭 2019 において開催した「瀬戸内アジアフォーラム」で培ったアジアの国や地域とのネットワークや、アートや文化による地域づくりに関する対話や交流の成果を持続していくため、芸術祭以外の期間についても継続的に小規模なアジアフォーラムを開催する。

③ 企業フォーラム

企業が文化活動に取り組む意義等について、有識者の講義や芸術祭会場の視察を通じて、企業経営者などの参加者が知見を深めることを目的として「SETOUCHI 企業フォーラム 2020」を開催する。

④ 島間交流事業

芸術祭の会場となった島の住民が、他の会場の住民と交流できる機会を設けることにより、各地域での地域活性化の取り組みや地域資源などについて理解を深めるとともに、住民同士がネットワークを構築し、次回の芸術祭における地域活動の参考としてもらうため、島間交流事業を実施する。

⑤ 学校連携事業

未来の瀬戸内を担う若者や子どもたちが、地域の魅力や課題に触れるとともに、自分の将来について考える機会を創出するため、香川県教育委員会や香川県内の高等学校等と連携して芸術祭に関する課外活動等を実施する。

⑥ 地域活性化人材育成事業（継続的ソフト展開事業）

地域の若い子育て世代を中心に、モノづくりやコト起こし、食の提供など、アートによる地域づくりの様々な活動を通じ、次回芸術祭の担い手として活躍できる人材を育成するため、実際に活動体験ができる場を設け、継続的に実践力を養う。

（3）オフィシャルツアー

芸術祭 2019 で好評だったガイド、昼食付きのオフィシャルツアーを屋内作品の公開スケジュールに合わせて実施する。また、アートやイベントだけでなく、環境、食、教育など様々なテーマに応じた特別企画ツアーを適宜実施する。

（4）広報活動

「ART SETOUCHI」のポスター及びリーフレットを作成し、公式ウェブサイトやSNS、パブリシティを活用して通年化に向けた活動を広く発信するとともに、芸術祭に向けて機運の醸成を図る。

II 令和2年度収支予算(案)

1 瀬戸内国際芸術祭開催事業費

(1) 収入 (単位：千円)

区 分	予算額	備 考
負担金	25,200	
香川県	10,500	
高松市	5,250	
丸亀市	1,050	
坂出市	1,050	
観音寺市	1,050	
三豊市	1,050	
土庄町	1,050	
小豆島町	1,050	
直島町	1,050	
多度津町	1,050	
玉野市	1,050	
福武財団	0	
補助金・助成金	16,074	文化庁
寄付金・協賛金	3,500	企業協賛金
その他	740	作品公募申請料等
前年度繰越金	254,247	
収 入 計	① 299,761	

(2) 支出 (単位：千円)

区 分	予算額	備 考
アートプロジェクト費	63,958	
作品制作費等	43,680	作品公募経費、芸術祭作品撤去等
事業計画等策定費	20,278	取組方針(仮称)策定費
運営活動費	22,979	
広報活動費	15,039	メインビジュアル作成、各種PR経費、ホームページ改修等
会場運営費等	2,290	サポーター募集経費等
事務局運営費	5,650	
予備費	1,000	
ART SETOUCHI運営費への繰出金	61,555	
支 出 計	② 149,492	

(3) 令和2年度収支差額

収支差額 (①－②)

150,269千円

(翌年度瀬戸内国際芸術祭開催事業費へ繰越)

2 ART SETOUCHI 運営費

(1) 収入

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
補助金・助成金	21,968	文化庁
チケット・グッズ等販売収入	4,112	個別鑑賞料等
芸術祭開催事業費からの繰入金	61,555	
収 入 計	① 87,635	

(2) 支出

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
作品継続費	50,470	
作品管理費	13,070	継続作品の修繕、保険料等
イベント開催費等	37,400	各種イベント等開催費
運営活動費	37,165	
広報活動費	4,100	チラシ作成、翻訳等
会場運営費等	32,565	作品公開等業務委託料等
事務局運営費	500	
支 出 計	② 87,635	

(3) 令和2年度収支差額

収支差額 (①－②)

0 千円